常磐文藝

報ひ

正夫

ベロ〳〵と赤く青く燃ゆる
力無い火
だけど、ゴッポゴッポと煮
え返る釜の湯
其の中に赤くゝ成らづ七色
の死体
おゝ…………
彼方を見れば
鐵棒持つ怪物
一人の男を脚下に踏へ
微塵に成れと打ち下ろす
此等の人々の苦悶の叫喚
ああつ……思わづ聲てゝ
目を掩ふ時
ゴラ〳〵背後にて笑ふ聲に
はつと氣附き見れば
先の鐵棒持つ怪物
此時我頭に閃きし……？
瞬間
あつ

（一九二五、四九）

漆器指物
和久井屋漆器店
平町一丁目
電話四〇五番

平町會議員
候補者　阿部唯次郎君
右最適任者ト認メ推薦シ協力一致其當選ヲ期ス
四丁目一同

平町
紺屋町
吉田眼科醫院

花見のお歸りには
長橋町の……
うどん
そば
まつや
へ

齒科　平町[illegible]　[illegible]齒科醫院

お花見の節は
是非お立寄り下さい
◇御送迎には自働車無料です
◇幔幕やムシロをお貸し致します
◇折詰めは美味に調製致します
御料理
旅館　尼子亭
平町松ヶ岡公園
電話二三〇番

社員招聘
最も權威ある業務にして
外交的手腕を有する士を望む
月收百圓内外
……委細面談……
東京　恒産株式會社磐城支社
平郡役所通り

毎日午前十時から
卅分間
友仙モス一尺
十二錢で廉賣
春衣……の
大賣出し
平・土橋
鹽屋呉服店
電話二一番

お待かねの
新形の合服
がいろ〳〵澤山
揃ひました
レーンコート
セ廣　三ッ組
立エリ　上下
夏トンビ
其の他各種
是非春の御支度は
勉强の平二丁目
なかや洋服店にて
電二〇三番

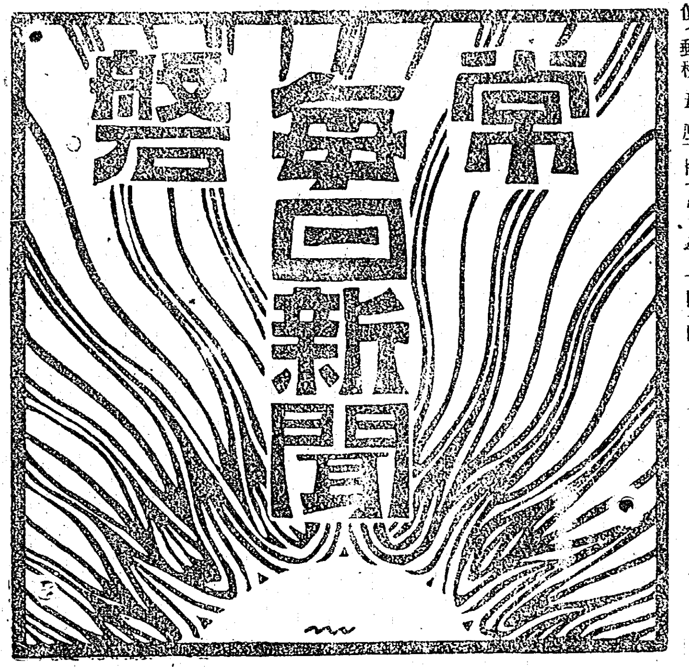
學生
帽子　カバン
安イノガ澤山揃ヒマシタ
五十錢ヨリ色々
大谷洋品部
大谷時計店
平町三丁目　電話一九番

株式賣買中値

電話に金融致します

銘格	拂込	時價
磐城銀行	圓五〇、〇	圓五三、五
平銀行	五〇、〇	六八、〇
同新	一二、五	一七、五
磐越銀行	一二、五	一〇、五
磐城實舊	五〇、〇	四二、〇
磐城實新	三五、〇	二八、〇
田村實銀	一二、五	一二、五
四倉銀行	一七、五	一七、五
農工銀行	二〇、〇	二五、〇
同新	一五、〇	一八、五
百七銀行	五〇、〇	五二、五
同新	一二、五	一四、五
七七銀行	一二、五	九、〇
東部電力	五〇、〇	四八、〇
同新	二五、〇	二二、五
只見川電	一二、五	七、五
植田水電	一二、五	一六、五
二本松電	一二、五	一四、五
磐城建物	一二、五	六、〇
磐城製菓	二〇、〇	一、五
磐城勸業	一二、五	一三、五
植田物產	三〇、〇	二六、五
平製氷	二五、〇	一八、〇
好間軌道	五〇、〇	二五、〇
入山新	三二、五	一四、〇
小田炭礦	二五、〇	七、〇
磐城炭礦	五〇、〇	四一、〇
同新	二二、五	一八、〇
磐城セメン	五〇、〇	六〇、〇
同新	三五、〇	四〇、〇
平運送	一二、五	六、五

賣買誠實懇切機敏に御取扱申候間多少に不拘御用命願上候
平町田町　電話三三二番
株式丸登店
川添房二郎



定價　一部金貳錢　一ヶ月卅錢　郵税五厘
廣告料　五號十二字詰一行　[illegible]十錢
休刊日　日曜祝日ノ翌日
印刷所　[illegible]　磐陽社
發行兼編輯人　印刷人　川崎文治
發行所　福島縣石城郡平町長橋町卅五番地　常磐毎日新聞社
四月十八日夕刊

常磐論壇

勿來關趾顯彰の意義に就て（一）

一有志寄

田中巴之助先生が勿來關趾顯彰のことを思ひ立たれたのは、去る大正二年、奥羽地方に遊ばれた歸途、勿來に立寄られた時でありましたが、その意義は非常に深遠で、偉人の胸懷、到底吾々の窺ひ得る所ではありませんけれども、今私どもの拜察し得た分だけを申上げませう。田中先生は、源義家公二十八代の遠裔にあたられますが、その勿來開顯は、御自分の祖先だからといふやうな狹いものでは決してありません。勿來は常奥に界する名關でその盛衰は地方の榮枯にも影響いたしますが、先生の志は勿論一鄕一地方の小にはありません。先生が勿來顯彰を發聲された眞意義は、モット〳〵深遠で、國家國民に對する偉大なる御慈念の結晶であると拜察致されます。八幡太郎義家といへば、國史の花をかざるほどの名將であるばかりでなく、仁慈と、高義と、勇武と、高雅と、あらゆる美質を兼備した上、學を好み士を愛し、精忠孝順の性格は、公の一生を貫いて流芳千歳に及んでゐます。國體精神の具現者として正しく日本國民の模範たるべき多くの美質を有してゐた、あの巨人義家の事蹟の中にも勇武鬼神の如しとうたはれ奥州戰爭の歸途春風三月落花の名歌をのこしたといふ優雅な史傳は八百年來、いかに我が國民精神を薫化したことでせうこの世智辛い世の中に風の日も、雨の日も、あの偏鄙な見るものもない片田舍の關趾へ杖を曳く人の絶ねないといふのは、いかにその古跡を偲び、その遺芳を慕ふ人の多いかといふ證左であります。

反對同盟會幹部が今夕知事に陳情

小田氏からの變更願は ▽……未だ完備せず

大瀧發電所問題の解決に關しては既報の如く計劃者小田炭礦社長より縣當局に對し此計劃を斷念して平町水道取入口の上流に放流すべく工事の變更願ひを提出したが伏見平町長井上縣議の兩氏が縣廳に出頭した結果端なくも右の書類に附隨し最も肝要なる實施設計申請書を未だ提出せざる事を發見せる爲め昨夜許可反對同盟會は大森副會長宅にて幹部會を開き香坂知事が來平せるを好機に本日午後四時常任幹事數十名は其の宿舍住吉屋本店に知事を訪れ右書類提出督勵方の陳情を爲す事となつた由

有權者判別に

當局大苦心

明日から縱覽

平町に於ける來る町議選擧の有權者名簿は愈々明廿日から向ふ一週間縱覽に供される筈で同資格者の總數其他當日まで發表なきも一般の豫想の如く從來に四倍する二千八百內外に達した樣である會つてない煩鎖に苦しんだ名簿調製はこれで一段落を告げた譯だが斯の如く俄に增加した有權者の識別がまた重ねて來る一層の難澁らしく各區の行政區長にも當人の顏を知らぬものが少くない有權者數の少い前回にすら替玉投票を後日に發見し大騷ぎを起したるに徴しても同樣の不正を行ふ者がないとも限らず如何にして此監視をなすかゞ問題で目下其方法を町當局に考究されて居る

辯論大會に

申込が殺到

今夕五時開會

石城郡聯合青年團主催のもとに今十八日午後五時から平町公會堂で初めて開く縣下聯合青年團の辯論大會は各地青年團より出席申し込み多數に達したので開催地元の石城郡ではまづ各郡より申し込みの選手を優先出演せしむる事となり時間に餘裕なき場合は地元の辯士は出演を遠慮することゝなつた

田中氏を

主賓として

一夕の雅宴

既報勿來の關建碑平町國與會發會式臨席の爲め來平せる智學田中巴之助氏を歡迎する爲め廿日午後六時より住吉屋本店にて晩餐會を催す由にて會費は二圓であるが宴會改良の一形式として清楚なる一夕の雅宴となし清興湧くが如き中に親しく偉人の謦咳に接せしむる計劃であると

入山運動會 石城郡湯本町入山採炭株式會社では十八九の兩日同炭廣場に於て大運動會を催すと

內郷青年改選 石城郡內郷村青年團ではこの程總會を開き役員の改選をした結果左の如く決定した

團長青木寛、副團長鈴木下喜、綠川顯司

本縣電氣大會にて

功勞者卅餘名表彰

▽……懇親宴の盛觀

既報本縣電氣協會大會は本日午前十時から平町公會堂に於て開會、香坂知事臨席の上植電社長金成通氏座長席に着き大正十三年度の會務會計報告あつて會則改正の件を附議し次回開催地を郡山市と決定、左記十五年以上勤續功勞者

（福島電燈）三品吉藏、大倉市三郎、瓶子由富、（新潟水力）神田市藏、那須國吉、松橋政司、阿部德三郎、薄田重太郎、山田國吉、三富富吉、木下熊次、安達吉五郎、今井福太郎、奈良澤五郎、山崎久太郎、山中久五右衛門（磐城電氣）遠藤注連三、高原多利四郎、本田子之吉、瀧本金五郎、（川俣電氣）渡邊兼助、土屋清、安齋豐吉、鴨原今朝吉、大內丑松、本田庄、本田庄助、吉田松之助（須賀川町）根本久之助、（二本松電氣）菅野辰吉、二階堂仲の諸氏を表彰し正午閉會午後四時よりは旗亭谷口樓上にて盛大なる懇親會を開いたが宴會場は造花の櫻花を以て飾り花間に灯る色電氣美しく平名妓の四季の踊其他賑々しく演ぜられた

磐炭の課稅で

本縣へ橫槍

東京市から

本縣では從來磐城炭礦株式會社所得、營業賦課稅約十一萬圓を縣の收入として來たが去る十五日突然東京市から同會社は本店並に營業所が東京市に在るのだから稅金は東京市に納付すべきものだとの抗議が持ち込まれたので本縣では何分財源に困り拔いて居る場合なのでこれをとられては一大事だと非常な狼狽ぶりを示して急據善後策考究中

光影會の

寫眞展覽會

來月十六日から

平町光影會にては來月十六日より三日間舊平陽女學校跡にて春季寫眞展覽會を開會する筈であるが同會に出陳する印畫の課題は公園並びに博覽會場、〆切來月十五日迄にて審查員は白土喜伯、中島孟、鈴木邦三郎の三氏であると

社告

印刷工見習員

十五歲以上十七歲迄

右數名至急募集す希望者來談あれ

平町鍛冶町

本社專屬工場 磐陽社

平町人事

▲出生

△三丁目三 柏原克三氏二男晃

△久保町二二 沼田千代吉氏長男武

▲死亡

△四丁目一九 星野孝子（二つ）

△四丁目一五 山田セイ（二八）

家庭欄

訪問と應接の心得(十一)

冬は火鉢が何よりの御馳走です。家によつては客を客間に通して置いていつまでも火鉢をくれず、寒風に曝らして置くところがあります。煙草盆をも出さない家があります。男の客などはお茶よりも煙草盆を先づ先にほしいのですから逸早く出すがよいです。また主人が煙草好きでないところの主婦は氣づかずに客がポケットから煙草を出すのを見て、始めてびつくりしたやうな顏をして煙草盆を持つて來るといふやうなことはよくあることであります。其他夏ならばうちはと一緒にタオルの冷たい水で絞つたのを差し出すなどは時にとつてはごく氣のきいたもてなし方といつてよいでせう

（をはり）

縣下の會長に

平町長有力

大會にて決定

本縣町村長大會は來る廿九卅の兩日に亘り若松市に於て開催すべく而も郡役所廢止を目前に控へての會合であるだけに之れによつて生ずる**町村長の**職務權限の異同その他相當論議の花を咲かすことゝ想像さるゝが昨秋郡山の市制實施によつて從來會長たりし大森吉彌氏の退任に次ぎ最近副會長たりし伊坂前平町長の**退職と共**正副會長二名の主腦部缺員の儘にて現在に於ては副會長たる北會津郡神指村長皆川應助氏一名を有するのみなので此際正副會長各一名の選擧を行はるゝは恐らく既定の**事實なる**べく而して會長は從來縣下町制地の首位にあつた郡山がその任にあたつて居た慣例に徴し多分平町の新町長伏見彥衛氏が推されるではないかとと

松ケ岡は

縣下一の花

明日は滿開

縣下一の稱ある平町松ケ岡公園數千本の櫻樹は昨十七日既に半開のゑみを見せ明十九日には滿開となるべく折り柄の縣青年大會を機としその日の雜踏を今より豫想されてゐるが每夜數百の電氣ぼんぼり晝を欺くあかるさを示し夜ざくら見物に杖をひく人も少くない博覽會を機として今十八日の縣下電氣協會大會平獵友會主催の縣下射擊大會を始め各種の會合に平町は近年にないにぎはひを呈してゐる

青森產馬視察 石城郡書記藁谷傳五郎氏及び澤渡村消防組頭平山藤吉氏外十名は青森縣の產馬組合狀況視察の爲め本日出張した

香坂知事

濱通り出張

本日平町へ

香坂本縣知事は十七日双葉郡富岡町郡會議室に於て開催の双葉郡町村長議員大會に出席、同日石城郡四倉町海氣館へ止宿築港を視察し十八日來平本縣電氣協會總會並びに本縣獵友大會に出席同日住吉屋本店に宿泊十九日本縣青年團總會に出席午後勿來の義家公顯碑式に參列の筈

募集

文藝其他投稿を募集します

大亞劇 犬馬の勞 二卷 說明 石川曉舟

等持院大作、幡谷、春子、

時代劇 小雀峠 六卷

說明、宮一郎、尾關義明、

本邦映畫界に突如すい星の如く現はれた甲陽スタヂオ超特作大映畫

滿蒙大活劇 馬賊の唄 全十卷

東都聲樂家松下京子獨唱

等持院近來の大作品

阪東妻三郎 主演 月形龍之助

高木新平、マキノ輝子、助演

大江戶怪賊傳

時代猛闘連續映畫 影法師 後篇七卷

影法師の皮肉な活躍は始まつた 影法師に救はれたお榮は 女賊辯天のお糸であつたそして馬と云ふ情婦まであつた事件は何邊迄に？

說明 石井孝

日曜 十九日 替り 東亞直營

平劇場 電五五五